

第
4719
号

(2-2)

READAS
リーダスクラブ

1994年1月6日創刊・毎日発行

リーダスクラブFAXニュース

(2013年)平成25年 4月30日 火曜日

発行所

三輪厚二税理士事務所／顧問料不要の三輪会計事務所（編集・発行：税理士 三輪厚二）
大阪市中央区備後町2-4-6 TEL：06-6209-7191 WEB：<http://www.zeirishi-miwa.co.jp>

税務行政の現状と課題

Q：税務行政の現状と課題が公表されたようですが、どのようなものなのですか？

A：次のような内容になっています。

【解説】

さきごろ、国税庁から「税務行政の現状と課題」が公表されました。

概要は、次のとおりです。

① 国税庁の機構

国税庁762人、国税局12局11,199人、税務署524署43,430人、合計55,391人

② 申告件数

平成23年分2,783万件（うち法人約500万件）で、ここ数年は減少傾向にある。

③ 実調率

実調率とは、実地調査の件数を対象法人数で除したものをいう。平成23年分の法人実調率は4.3%、個人実調率は1.4%であった。平成元年の法人実調査率8.5%で、個人実調査率2.3%に比べると、どちらもほぼ半分になっている。

④ 電子化・ICT化の推進

納税者の利便性の向上及び行政事務の効率化を推進していく必要がある。

⑤ 番号制度

今通常国会に法案が提出される予定で、個人は住民票コードをもとに、法人は会社法人等番号をもとに番号がふられる予定

⑥ 消費税率の引上げ等への対応

転嫁拒否等に関する相談体制を整備し、便乗値上げ等を調査、監視すると共に相談窓口を設置して対応

